
沈黙の15分ー蘭sideー

哀loveコナン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

沈黙の15分―蘭side―

【Nコード】

N4240BA

【作者名】

哀loveコナン

【あらすじ】

沈黙の15分の雪崩に巻き込まれたコナンを救った蘭の気持ちです。

コナンです。

久しぶりの短編です。ぜひ、読んでみてください。

“ 蘭：ねくちや…ん ”

雪崩に巻き込まれたコナン君をみつけて、抱き締めていた時に…漸く目を開けたコナン君の声……。

とても弱々しく……発せられた小さな声は……今でも、心に残ってる……。

その声を聞いた私はコナン君の精一杯の笑顔に安心して、もう一度抱き締めた……。

“ コナン君……良かったあ〜コナンくん…… ”

心配する皆の声に安心して、再び目を閉じたコナン君……その眠った顔を見て私は安心して微笑む……。

良かった……また、コナン君に会えて良かった……。

もう、無茶なんてしないで…私は眠ったコナン君の表情を見つめて、そう思う……。

その後、ロッジに連れて帰って…冷えた身体を温めた……。

その、眠った表情を見つめながら…私は手を握る……。

体温を戻して行くコナン君は……表情さえも安心していた……。

“ん……”

ゆっくりと目を開けるコナン君の顔をじっと見つめる私は……まだ、安心仕切っていなかった…。

“コナン君、大丈夫???”

君のその言葉を聞くまでは……。

“蘭、ね〜ちゃん……あれ?僕……”

“憶えてる?雪崩に巻き込まれて……その後、ロッジに運んで来たのよ……”

キョロキョロするコナン君に、状況を伝えた……。

“そっか……ごめんね、蘭ね〜ちゃん……”

謝るコナン君に微笑みかけ……頭を撫でた…。

“大丈夫……生きててくれて、良かったわ……ありがとう、コナン君……”

私の言葉に一瞬驚いていたけど、再び微笑んでいた……。

“いっ……”

肩を押さえ、痛がりながら起きあがるうとするコナン君にまた、心配な目線を送る……。

“ダメよ、まだ寝てなきゃ…”

“大丈夫…思ったより痛くないから…”

もう、心配かけない様にとしているんだろう…嘘だとわかっていたけど…私はコナン君の背中をさすりながら、呟いた…。

“そう…”

でも、コナン君…もう君は頑張らなくていいんだよ…。

休んでていんだよ…。

そんな言葉を言おうとしたけど、きっと君の口から出る言葉は決まってるから…。

私の心配する表情を見つめて、コナン君は言った…。

“大丈夫だよ、蘭ね〜ちゃん…”

どうしてコナン君はそこまで…そんな言葉を言われ、涙ぐむ私を笑って見ていたね…。

辛いのを我慢して、精一杯微笑んで…。

でも、もう無理なんてしないでね…。

コナン君が生きてくれるだけで、私は安心できるから…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4240ba/>

沈黙の15分－蘭side－

2012年1月11日07時02分発行